

仙台市水道事業中期経営計画 令和7年度～令和11年度 (中間案) 概要版

仙台市水道局

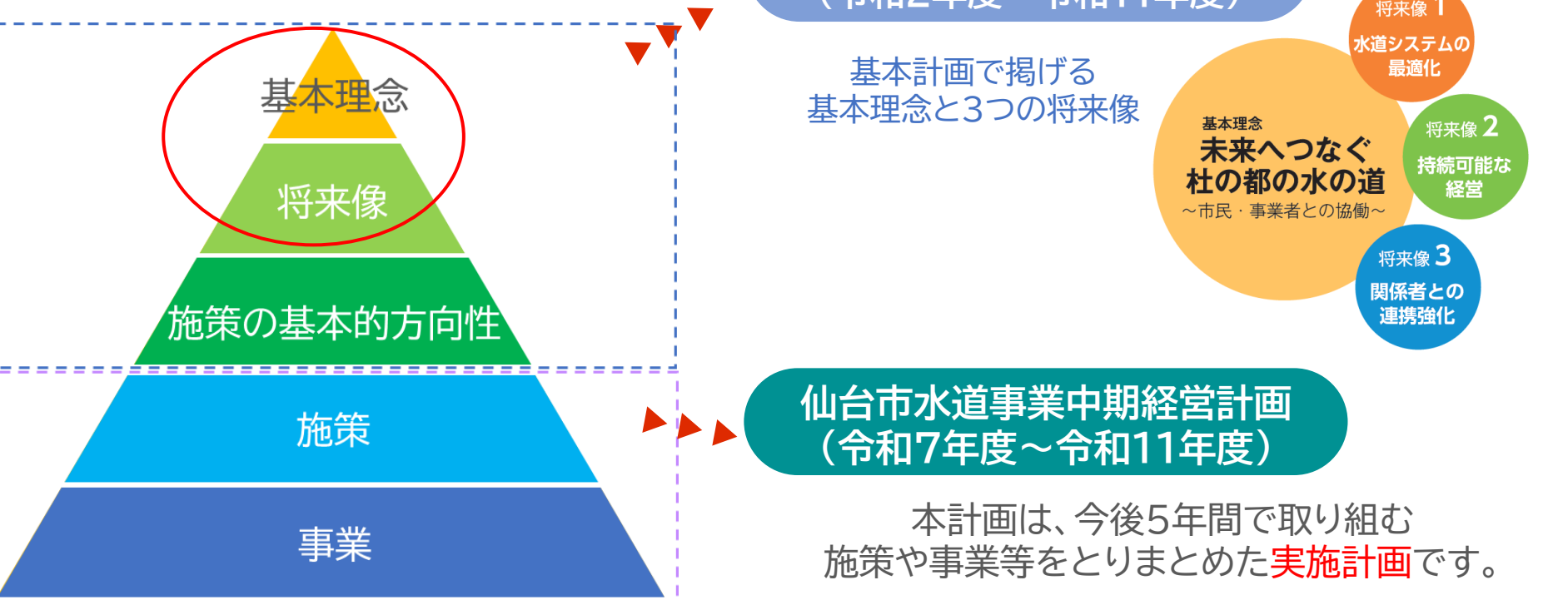
1 策定趣旨と位置づけ

(1)策定趣旨

「仙台市水道事業中期経営計画」は、本市水道事業が10年間に取り組む施策の基本的方向性を定めた「仙台市水道事業基本計画(令和2年度～令和11年度)」(以下「基本計画」という。)に沿って、着実に事業を推進するために、具体的な事業内容を掲げた実施計画です。これまで、計画期間を令和2年度から令和6年度までとする前期の中期経営計画(以下「前期計画」という。)により、事業運営に取り組んできました。

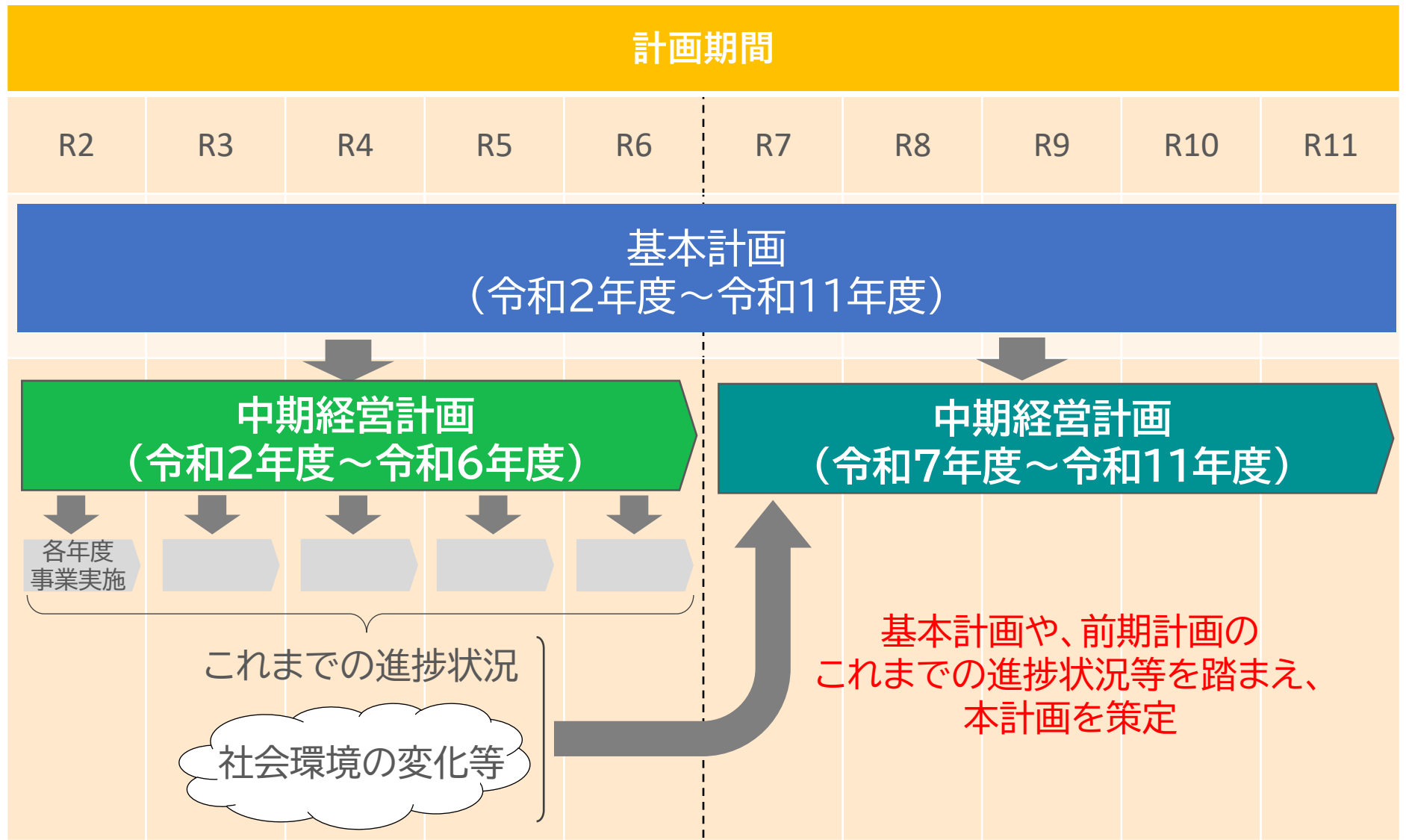
このたび、計画期間が満了することから、計画の進捗状況等を踏まえて、後半5年間の「仙台市水道事業中期経営計画(令和7年度～令和11年度)」(以下「本計画」という。)を策定します。

○基本計画と本計画との関係



(2)位置づけ

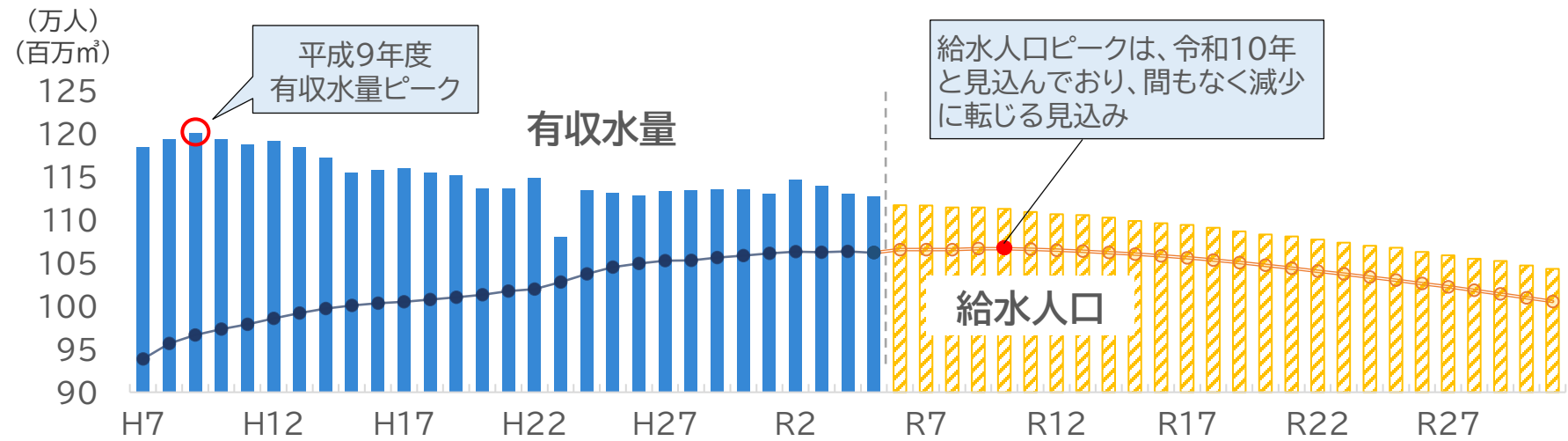
本計画では、引き続き、基本計画に掲げる基本理念や将来像の実現に向けて、前期計画の進捗状況や社会環境の変化等を踏まえ、各施策や事業に取り組みます。



2 水道事業の将来見通し

水道事業の将来見通しについては、給水人口や水需要の減少に伴い、水道料金収入が減収となるほか、過去に集中して整備した管路や浄水場等にかかる更新費用が増加する見込みとなっており、基本計画策定時と同様、経営状況は厳しさを増す見通しです。

本市における給水人口と有収水量の見通し



また、近年では、自然災害が激甚化・頻発化しているほか、異常気象による高温や渇水等が発生しているため、大規模地震や豪雨等による様々なリスクに備えた対応が必要です。



地震により破断した水道管（令和6年能登半島地震）



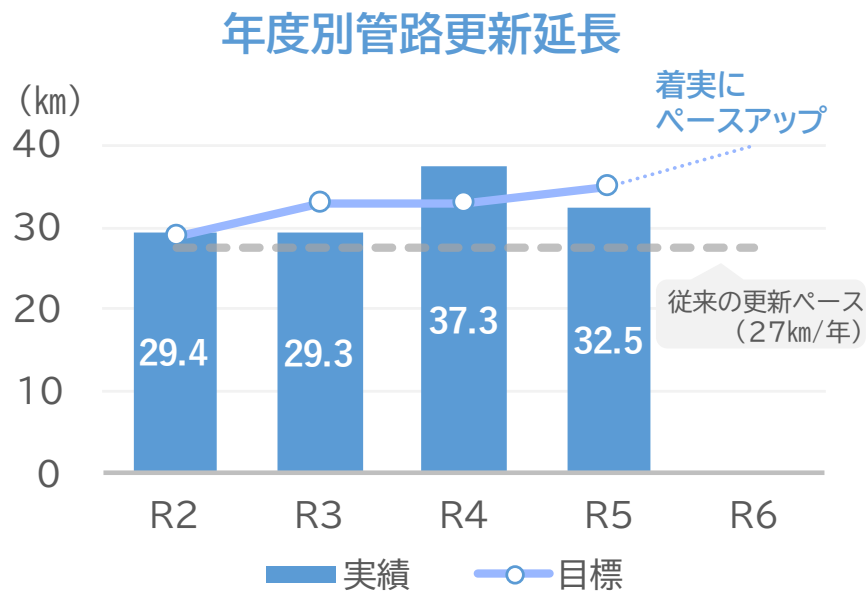
アオコが発生した七北田ダムの様子

3 前期計画の振り返り

前期計画では、管路更新のペースアップ、浄水場の再構築、水道料金等の在り方検討、関係者と連携した災害対応の充実等に取り組んでおり、概ね順調に事業を推進しています。

(1) 主な施策の進捗状況

◆ 管路更新のペースアップ



老朽化が進む管路については、管路更新のペースを上げて、老朽化した管路の更新・耐震化を推進してきました。

入札不調等の影響もありますが、令和2年度から令和5年度までの目標値の合計に対する達成率は98.8%となっており、概ね順調にペースアップを続けてきました。

◆ 関係者と連携した災害対応の充実



民間事業者と連携した復旧作業(令和6年能登半島地震)

災害発生時には、水道局職員のマンパワーだけでは対応に限界があることから、お客さまや地域団体、他の水道事業体、民間事業者等と連携を強化し、災害対応の充実を推進しています。

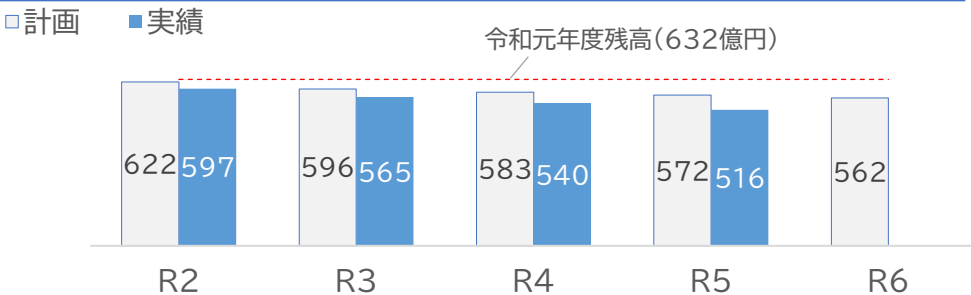
また、他都市で災害が発生した際には、民間事業者と連携し、応援派遣を行っています。

(2) 財政運営の状況

水需要減少に伴う水道料金収入の減少や、施設の老朽化による更新事業費の増大等、水道事業を取り巻く経営環境は厳しい状況となっている中、持続可能な経営を維持するため、前期計画では、基本計画で定めている財政運営の考え方「企業債残高の縮減」「安定的な運営資金の確保」「純利益の確保」に基づき、財政運営を行っています。

① 企業債残高

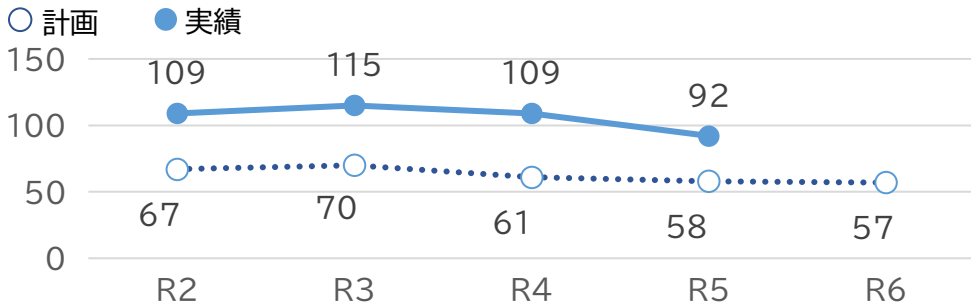
単位：億円



企業債残高については、建設改良費が計画値を下回ったことに伴い企業債借入額が縮小したことにより、令和元年度残高を下回る水準を維持しています。

② 運営資金残高

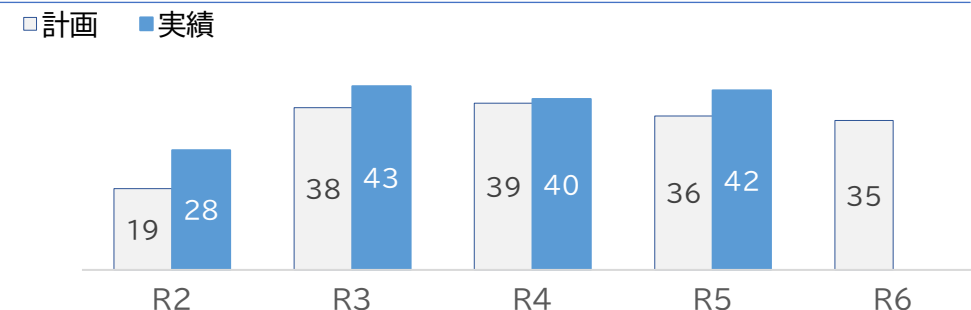
単位：億円(税抜)



運営資金残高については、令和2年度末時点で事業精査等により建設改良費が計画値を下回ったことや、各年度で計画値を上回る純利益を確保できたことの積み上げなどにより、計画値を上回る残高を確保しています。

③ 純利益

単位：億円(税抜)



純利益については、安定的な事業運営に必要な一定程度の純利益を確保することとしており、事業費の精査等により計画値を上回る純利益が確保できています。

(3)経営指標の状況

前期計画では、日本水道協会の定めた規格である「水道事業ガイドライン」等に基づき、5年間で重点的に取り組む事業に関連する項目を中心に経営指標を設定しています。
令和5年度末時点で、9項目中6項目達成しています。

○主な経営指標の状況

指標	令和6年度末目標	令和5年度末実績
本市独自の水質目標達成率	100%	99.9%
管路の耐震化率	35.0%	35.2%
応急給水施設の設置割合	64.9か所/100km ²	65.4か所/100km ²

4 社会環境の変化

本計画の策定にあたっては、以下の社会環境の変化等も考慮していく必要があります。



水道法の改正・
水道行政の事務移管



水源水質のリスク



DXの推進



労務・資材単価の高騰



脱炭素社会の実現



ダイバーシティの推進

5 本計画における施策・事業
本計画期間に取り組む施策・事業については、これまでの進捗状況等を踏まえて精査を行い、21の施策・32の事業を推進します。

仙台市水道事業基本計画
(令和2年度～令和11年度)

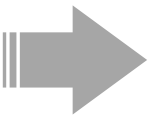
基本理念と将来像



12の施策の基本的方向性

- 方向性 1 お客さまが実感できる良好な水道水質の実現
- 方向性 2 災害に強い施設・システムづくりの推進
- 方向性 3 被災時にも給水が継続できる体制の強化
- 方向性 4 水需要に合わせた施設の再構築
- 方向性 5 アセットマネジメントによるライフサイクルコストの縮減
- 方向性 6 将来の更新財源確保に向けた水道料金等の在り方検討
- 方向性 7 新技術導入等による業務の効率化・お客さまサービス向上
- 方向性 8 水道事業を支える人材の確保・育成及び組織体制の強化
- 方向性 9 お客さまとの双方向コミュニケーション充実による開かれた経営の実現
- 方向性10 災害対応における地域・他の水道事業体・民間事業者との連携強化
- 方向性11 本市の技術力・ノウハウ・ネットワークを活かした近隣水道事業体との連携強化
- 方向性12 民間事業者・仙台市水道サービス公社との更なる協働

仙台市水道事業中期経営計画
(令和2年度～令和6年度)



仙台市水道事業中期経営計画
(令和7年度～令和11年度)

24の施策
44の事業

進捗状況等を
踏まえて精査

21の施策
32の事業

将来像1 水道システムの最適化

官民連携や新技術の活用等の新たな手法や考え方を取り入れながら、災害に強く、効率的な水運用やリスク管理を行える最適な水道システムを構築し、次世代に継承することで、将来にわたって安全で良質な水道水をお客さまにお届けしていきます。

方向性1 お客さまが実感できる良好な水道水質の実現

1-1 水質の監視・管理の徹底と強化

- 水質の監視・管理の徹底と強化
- 関係者との連携による水源保全

200項目以上の水質検査で徹底的にチェック!

品質管理

法令51+独自150以上を検査

美味しさ

数値と人の味覚で管理

安定供給

24時間365日体制で監視



国の水質基準を上回る
本市独自の水質管理



青下の杜プロジェクトにおける
青下水源涵養林の水源地保全活動

1-2 仙台の水道水のPR

- 水道水の安全性等の広報



水道フェアにおける利き水体験

方向性2 災害に強い施設・システムづくりの推進

2-1 管路更新のペースアップ

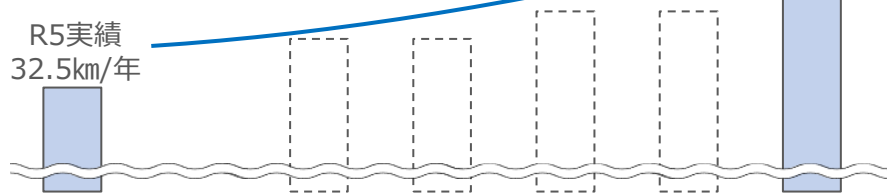
重点

- 管路更新のペースアップ

年間40kmの更新に向けて、
ペースアップを図ります

R5実績
32.5km/年

R11目標
40km/年



2-2 施設・管路の計画的な耐震化

- 施設の計画的な耐震化
- 重要給水対象施設への管路の耐震化

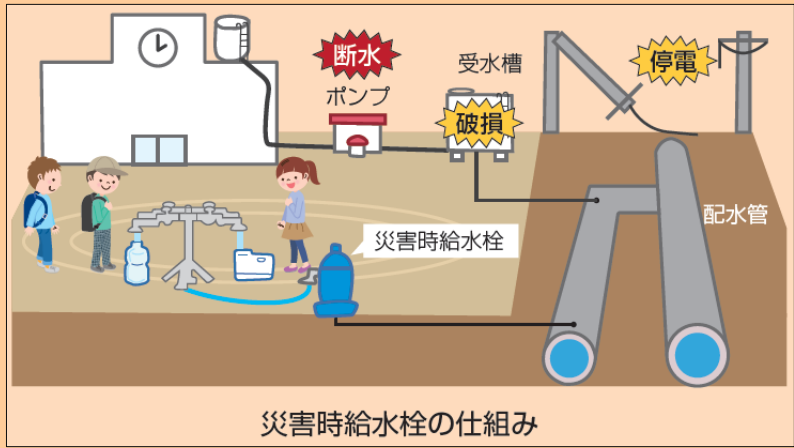


配水所における耐震化工事

方向性3 被災時にも給水が継続できる体制の強化

3-1 災害時給水栓による応急給水体制の強化

●災害時給水栓の活用促進



3-2 様々な取組を通じた
早期応急復旧体制の強化

- 危機管理体制の強化
- 計画的な応急復旧資材・保管場所の確保
- 水道施設の長期停電対策の充実

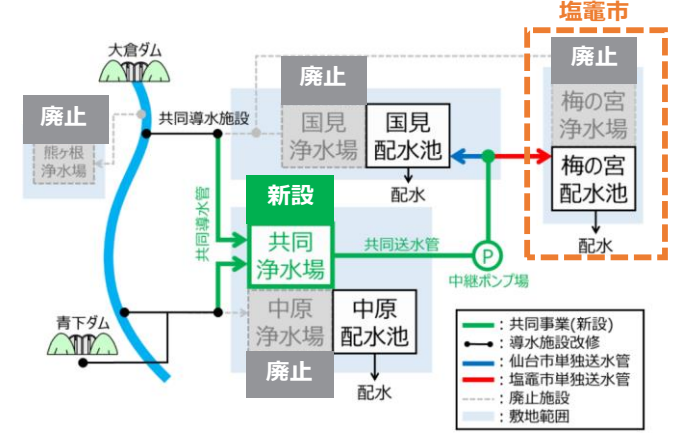
方向性4 水需要に合わせた施設の再構築

4-1 浄水場の再構築

重点

- 共同浄水場の整備推進
- 茂庭浄水場の長寿命化
- 小規模浄水場の段階的な統廃合

共同浄水場整備の概要
稼働開始から約60年
を迎え、老朽化が進行した
国見浄水場の更新時期に
合わせて、国見浄水場と
同じ水源であり、耐震性
に課題のある中原浄水場・
熊ヶ根浄水場及び塩竈市
梅の宮浄水場を統廃合し、
整備を進めています。

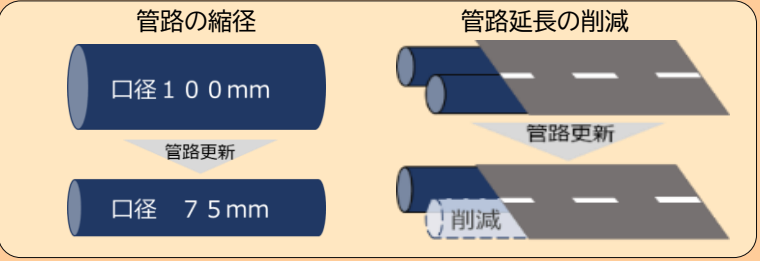


4-2 配水所等の再構築

- 配水所等の統廃合
- 廃止施設の計画的撤去

4-3 管路更新時における
管口径等の適正化

●管口径等の適正化



将来像2 持続可能な経営

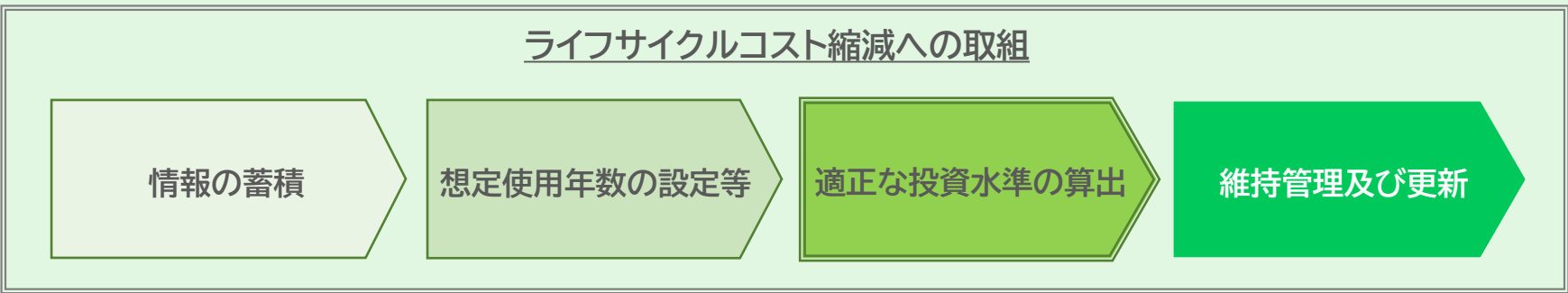
アセットマネジメント手法による更新費用の縮減・平準化や、新技術導入による業務効率化・コスト縮減を図るほか、水需要が減少する社会においても、必要な財源を確保するために、適正な水道料金等の在り方を検討していきます。あわせて、研修やOJT等の更なる充実により水道局職員の技術や能力の向上に引き続き取り組むなど、将来の仙台市水道事業を支える人材を育成していきます。

方向性5 アセットマネジメントによるライフサイクルコストの縮減

5-1 ライフサイクルコスト縮減への取組

●適正な投資水準の算出

持続可能な水道事業運営を目指し、限られた財源の効果的な投資を図るため、AIなどの新技術も積極的に活用しながら、水道施設を構成する土木構造物、建築物、機械・電気・計装設備、水道管など、それぞれの特徴を踏まえたアセットマネジメントの取組により、中長期的な資産の状態をよりの確に見据えた更新需要の見通しや適正な投資水準の算出を行い、更なるライフサイクルコストの縮減を図ります。



方向性6 将来の更新財源確保に向けた水道料金等の在り方検討

6-1 水道料金等の在り方検討 **重点**

●適正な水道料金等の在り方検討

方向性7 新技術導入等による業務の効率化・お客さまサービス向上

7-1 DX推進による業務の効率化・お客さまサービスの向上

●DX推進による業務の効率化・お客さまサービスの向上

お客さまサービスの向上の取り組み

「仙台市DX推進計画2024-2026」では、対応件数の多い上位100手続きについて、オンライン化することを目指しています。
水道局では、対象の手続きについて、オンライン化の検討を進めており、お客さまの利便性向上に向けて、引き続きサービス向上に取り組めます。

水道局におけるオンライン化に向けた 主な検討対象
水道料金等の口座振替申請
給水装置所有者変更届出
給水装置工事承認申込

方向性8 水道事業を支える人材の確保・育成及び組織体制の強化

8-1 キャリアを意識した計画的な人材育成

- キャリア形成のきっかけづくり
- キャリア形成支援への働きかけ

8-2 人材育成環境の強化・充実

- 職員研修内容の充実
- 職員研修施設の修繕・改良及び活用
- ナレッジバンク(知識や経験のデータベース)の活用

将来像3 関係者との連携強化

お客さま、地域団体、民間事業者、(公財)仙台市水道サービス公社、近隣水道事業体等の関係者の皆さまとの連携を強化して、人口減少社会における様々な課題の解決に取り組めます。

特に、近隣水道事業体との広域連携では、課題解決に向けて協力しながら、本市の技術力の維持向上を図るなど、お互いにメリットのある連携関係を築いていきます。

方向性9 お客さまとの双方向コミュニケーション充実による開かれた経営の実現

9-1 お客さまとのコミュニケーションの推進

●お客さまとのコミュニケーションの推進



水道記念館・青下水源地で開催した
青下の杜フェスティバル

9-2 アンケート等によるお客さまニーズ等の把握

●アンケートやお客さま意識調査等の継続的実施

仙台の水道

H₂O

エイチ・ツー・オー

2024 6月号
vol.187

仙台市の水道料金を
おしえて！

水道料金

入場無料
予約不要

水について楽しく学ぼう！

水道フェア2024開催！

日時 2024年8月20日(火) 10:30～15:30

会場 せんだいメディアテーク1階オープンスクエア 仙台市青葉区春日町 2-1
ご家族やお友達同士でお誘い合わせの上、ぜひ来場ください。

主な内容
(予定)

水道に
親しもう！

水道を
学ぼう！

違いが分かるかな？
水の飲み比べ体験

水風景作品コンテスト
展示コーナー

ほか

水はどうやってきれいになるの？
実験コーナー

災害時の水の備えは？
応急給水コーナー

仙台市水道局
キャラクター
ウォーターくん登場！

クイズフリー
参加で
景品がもらえる
チャンス！

お問い合わせ 総務課 TEL: 022-304-0017 FAX: 022-249-2123

広報紙「H₂O」(年2回発行)

方向性10 災害対応における地域・他の水道事業体・民間事業者との連携強化

10-1 関係者と連携した災害対応の充実

重点

- 地域の皆さまによる応急給水訓練の支援
- 他の水道事業体・民間事業者との応援体制の充実



地域における災害時給水栓の開設訓練



北海道における札幌市との合同訓練

10-2 災害経験の発信

- 災害経験の発信



国際会議での発表

方向性11 本市の技術力・ノウハウ・ネットワークを活かした近隣水道事業体との連携強化

11-1 近隣水道事業体との連携推進

- 近隣水道事業体との対話の推進とニーズの把握

本市における他都市連携事例

- 共同浄水場の整備(塩竈市)
- 水質検査受託(塩竈市、富谷市、名取市、川崎町、七ヶ浜町、松島町、利府町の3市4町)
- 実技講習会(近隣水道事業体向け) 等

方向性12 民間事業者・仙台市水道サービス公社との更なる協働

12-1 民間活力を活用した最適な事業手法の検討

- 民間事業者等の技術・ノウハウの活用検討

12-2 民間事業者・仙台市水道サービス公社の人材確保・技術力の維持向上

- 民間事業者等との協働による人材確保や技術力向上の支援

6 財政収支計画

本計画では、持続可能な事業運営を行うため、引き続き、基本計画で定める「企業債残高の縮減(令和元年度比)」、「安定的な運営資金の確保」、「純利益の確保」に努め、健全かつ安定的な財政運営を進めます。

本計画期間中においては、管路更新のペースアップや共同浄水場整備が本格化するなど、費用の増加が見込まれており、その財源となる「運営資金残高」については、徐々に減少する見込みですが、持続可能な経営を維持するため、マイナスとならないよう適切な額を確保していきます。

○財政収支計画

単位:億円(税込)

		令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度
収益的 収支	収益的収入	300	296	296	297	298
	収益的支出	279	264	267	271	274
	純損益(税抜)	13	20	17	12	10
資本的 収支	資本的収入	88	80	81	96	103
	資本的支出	229	198	199	207	213
補てん財源(税抜)		180	148	138	128	124
運営資金残高(税抜)		39	30	20	17	14
企業債残高		542	543	550	575	593

※前期計画期間中の決算状況や今後の建設改良費の見通し、近年の物価高騰等を踏まえ、基本計画から数値を更新しています。

※金額については、令和7年度予算の反映等、計画策定までに最新の数字に置き換えていく予定です。

7 経営指標、進捗管理

本計画の推進にあたっては、水道事業の健全経営が維持されているかを確認するため、前期計画と同様に経営指標を設定します。

また、毎年度、各施策や事業の進捗状況を評価し、外部の有識者で構成する「仙台市水道事業経営検討委員会」において評価を受け、次年度以降の事業等に適宜反映し、推進します。

PDCAサイクルによる進捗管理

